

令和7年度 事業報告

1 概況

令和7年度は、第3次中期計画の4年目として、昨年度に引き続き、公園一斉清掃ボランティアや鈴木亜由子杯穂の国豊橋ハーフマラソンボランティア活動に参加、第10回感謝祭の開催や会員日帰り旅行などを行いました。また、第1期健康計画の最終年度として、健康体操教室や転倒予防体操など会員の健康・体力の向上を目的に様々な事業を積極的に努めました。

全国的に会員拡大が伸び悩んでいる中で、新聞折り込み広告を利用した入会説明会の開催案内、会員による友人・知人の紹介活動や市内生涯学習センターなどを利用した出張入会説明会の積極的な開催により、会員数は3月末で2,292人と令和6年度末と比べ、55人の増加となり、中期計画の目標値2,260人を上回ることができました。

会員の皆様のご努力とご協力によるものと深く感謝いたします。

契約金額については、前年度と比べると請負・委任事業で4.2%の減少、派遣事業は4.7%の増加となり、中期計画の目標値を上回る事ができました。

事業実績については、契約金額9億6,184万円（前年度対比6.3%増）、受注件数7,724件（前年度対比2.4%減）となりました。

会員数、契約金額とも中期計画の目標値を上回る成果を得ることができましたことは、会員、役職員がひとつになって事業運営に取り組んできた賜物であると改めて感謝するとともに、これからも共に働き、共に助け合いながら地域の皆様の期待と信頼にこたえられる魅力あるセンターとして、さらなる事業の推進を図ってまいります。

以下、令和7年度に実施した主な事業について報告いたします。

(1) 安全・適正就業の推進

- ① 会員が健康で安心して「働く」ことを通じて、生きがいを見出せるためにも日頃から安全・適正就業に対する意識を維持できるように安全・適正就業委員会の委員による就業現場をパトロールし、安全対策を呼びかけました。
- ② 安全就業促進のため、豊橋市公会堂で「安全・安心のつどい」を開催し、

高齢者の筋力の強化、認知症予防をテーマに「転倒予防体操」や高齢者に対する「交通安全講話」を実施しました。

- ③ 春と秋の全国交通安全運動期間と「安全・安心のつどい」終了後に会員と役員が交通安全立哨活動を行いました。

(2) 会員増強、就業機会の拡大

- ① 会員日帰り旅行やボウリング大会などのイベントでは、会員の友人・知人も参加できるようにして新規入会を促進しました。
- ② 入会説明会でセンターの事業活動を紹介するビデオを入会希望者の方にとって見やすく分かりやすい内容に更新し、センター事業の理解向上に努めました。
- ③ 愛知県シルバー人材センター連合会と共同で剪定講習会を開催し、新規の入会者獲得に努めました。
- ④ 既存の発注者に対して、さらなる就業機会の拡大を求める活動をしました。

(3) 普及啓発事業

- ① 昨年度に引き続き、ラッピングバスの市内運行を実施しました。
- ② 継続的なボランティア活動への取組として、市内公園などの一斉清掃活動や鈴木亜由子杯穂の国豊橋ハーフマラソンでの荷物預かり、給水係など会員がおそろいの帽子とオレンジジャンパーを着用して、PR活動をしました。
- ③ イキイキあいちシルバー人材フェスタへ参加しました。

(4) 運営体制の充実・強化

- ① 事務局を総務管理課、就業推進課、企画事業課の3課体制に組織変更をして、体制強化を図りました。
- ② 昨年に引き続き、商工会議所発行の月刊誌「ニューボイス」や新聞紙面に広告を掲載、求人会社や団体先へPR活動を展開するなど新たな取引先の開拓を進めました。
- ③ デジタル化を推進するために、WEBサイト「Smile to Smile」未登録会員への登録を積極的に呼びかけて登録率の向上を図りました。
- ④ 安定したセンター運営を維持するために事務費率の見直しをしました。

(5) インボイス制度・フリーランス法への対応

インボイス制度やフリーランス制度へ対応するため、令和7年4月より、発注者と新たな契約方法に基づく契約を締結し、シルバー人材センターが発注者から頂く料金を「会員業務委託料（会員への報酬等）」と「センター業務委託料（事務費等）」の2つで構成することとしました。これにより適格請求書発行事業者であるシルバー人材センターは、「センター業務委託料（事務費等）」についてのみ消費税に係る適格請求書（インボイス）を発行することになりました。

(6) 指定管理事業

老人福祉センターにおいては、自主事業として人気のあるボッチャを複数のセンターでの実施や9月にリニューアルオープンした仁連木老人福祉センターに新たな自主事業としてeスポーツを導入し、利用者の拡大を図りましたが、仁連木老人福祉センターが8月末まで閉館していたことや仁連木・石巻両老人福祉センターの風呂を廃止したこと等により、利用者数は前年度より22,759人の減少となりました。

高齢者活動センターの入館者数は、32,554人（牟呂27,258人、石巻5,296人）となりました。

愛知ネットと共同で指定管理している青少年センターの「ちょこっと講座」では、シルバー人材センターの会員が講師となって実施している自主事業として、「ミニ門松づくり」「絵手紙」など、世代を超えた交流を図りました。